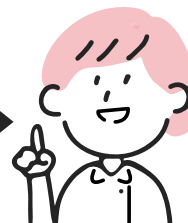


まっチャレ通信

皆さん、こんにちは！3月は卒業式の季節。新たな一步を踏み出す希望と、別れの寂しが入り交じる時期ですね。在校生の皆さんも進級に向けて気持ちを新たにしていることでしょう。まっチャレも次のステップへ。3月は指導者研修が充実し、指導者の皆さんが学びを深めました。また、3月14日の第4回地域移行検討協議会では、学校体育施設開放事業の見直しに関する対応などが話し合われ、地域クラブの運営について議論が進みました。

新年度に向け、子どもたちがより良い環境で活動できるよう、まっチャレの取り組みを進めていきます！



i まっチャレ急増中！

まっチャレ通信1月号では届出が16団体とお伝えしましたが、その後25団体が加わり、現在は41団体となっています。これまで学校の部活動にはなかった種目（ドッジボール、ラグビー、スポーツクライミング、麻雀、和太鼓など）の団体も誕生しています。詳しい一覧は、[コチャ](#)からご覧ください。



女子生徒の不調に寄り添う指導とは？ ～「気づける指導者」になるために～

スポーツ指導の現場では、男性指導者が多く、女子生徒の心身の不調に対する理解が十分でないことが課題となっています。特に思春期の女子生徒は、月経やホルモンバランスの変化、メンタルヘルスの問題など、競技のパフォーマンスに影響を受けやすいにもかかわらず、こうした視点が指導に活かされていないケースもあります。

令和6年9月に実施したアンケートでは、保護者から「指導者の指導方法が厳しすぎたり、高圧的である可能性があること」への不安の声が寄せられました。こうした課題を受け、3月1日（土）、国立スポーツ科学センターの本郷由貴先生を講師に迎え、「女子選手（生徒）の心身の不調とその対応」をテーマに研修を開催しました。本郷先生は、トップアスリートのサポートを行う研究者・実践家です。

研修では、一見すると熱心な姿勢に見える「休まず練習を続ける」などの行動も、メンタルヘルスの問題が背景にある可能性があることが紹介されました。指導者は、生徒の小さな変化を見逃さず、寄り添う声掛けをすることが重要だと強調されました。参加者からは、「普段のコミュニケーションを大切にし、子どもの変化に気づける指導者になりたい」「男女一緒に練習する場では、女性選手への理解がある指導者が必要だと感じた」といった声が寄せられました。

生徒が安心してスポーツに取り組める環境をつくるため、指導者の「気づく力」が求められています。



選手を守り、成長を支える指導とは？ ～信濃グランセローズ柳沢監督による研修会～



3月2日（日）、セキスイハイム松本スタジアムで、信濃グランセローズの柳沢裕一監督による指導者研修会を開催しました。野球をはじめ、ラグビーや卓球、合気道など多競技の指導者約20名が参加し、健康・安全管理やコンプライアンスについて学びました。柳沢監督は「選手との積極的な対話がケガやトラブルの防止につながる」と強調。日頃の関わり方が生徒の安全や成長に大きく影響することを解説しました。

技術指導の研修では、指導者から多くの質問が寄せられ、実践的なアドバイスを次々と展開。「すぐに現場で活かせる」「指導の引き出しが増えた」といった声が多く寄せられました。指導者自身が学びを深めることで、より良い環境を生徒に提供できる。そんな気づきの多い研修となりました。



第4回地域移行検討協議会で議論された内容を共有します！

● 文化系部活動のクラブ移行の状況について(吹奏楽部)



吹奏楽部のクラブ移行に向けた基本的な考え方と、課題・方向性について報告しました。下記を踏まえ、引き続き顧問の先生や保護者の皆様と移行の方法について検討していきます。

検討項目	基本的な移行の考え方	課題	市の方向性
活動形態	各校単位で、R7年度末までの休日クラブ化への切り替えを目指し準備を進める	部員減などで、単独校での活動が困難となった学校同士の合同バンド化に向けた調整の方法	・クラブ化する動きに応じて随時相談対応 ・合同化の中間調整
運営主体	保護者または地域の活動希望者による立ち上げ	金銭管理(口座開設)、連絡体制、規約、指導者手配などの諸手続きが煩雑	・先行モデルのノウハウを提示するなどの相談対応
活動場所	学校施設を利用 	入室のセキュリティ管理及び教室使用に関するルール化が必要	移行期中の経過措置を含め使用方針を検討
楽器の取扱い	学校所管の楽器を貸与	補修・修繕の費用負担など、使用に関するルール化が必要	移行期中の経過措置を含め使用方針を検討

● 市立学校体育施設開放事業の見直しについて



より多くの団体が幅広く活発に利用できる環境を整備するため、学校体育施設開放事業の見直しを、令和7年4月から行うことについて報告しました。

＜見直し前のルール＞（R7.4以前）

優先順位 ①学校利用 ②地域利用 ③登録団体 ④一般団体
 料金区分 ①午前5時～午前8時 ②午前8時～正午 ③正午～午後5時
 ④午後5時～午後9時
 照明使用 2時間以内、超過1時間あたり
 利用上限 なし

＜見直し後のルール＞（R7.4以降）

優先順位 ①学校利用 ②地域利用 ③登録団体（まつチャレを含む） ④一般団体
 ※まつチャレも登録団体の申請手続きは必要になります。
 料金区分 変更なし
 照明使用 変更なし
 利用上限 **あり** ① 1日の利用時間は、平日2時間以内、休日3時間以内
 ② 1週間の予約日数は、平日1日以内、休日1日以内
 ③ 同日に複数施設（体育館と運動場）の予約は**不可**
 ※ただし、調整会議の結果、他団体の了承が得られればこの限りではありません。



まつチャレ一覧に掲載の団体数（令和7年3月24日時点）

スポーツ 36団体・文化5団体 **合計41団体**（内補助金受給団体は9団体）



まつチャレ通信では皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしています。「こんな特集をしてほしい」などのご要望がありましたら、コチラから投稿をお願いします。→ <https://logoform.jp/form/N7tm/791864>



まつチャレサポートデスク コールセンター終了のお知らせ

日頃より「まつチャレサポートデスク」をご利用いただきありがとうございます。

令和6年9月30日より運営してまいりましたまつチャレサポートデスクのコールセンターですが、**令和7年4月1日をもって終了**することといたしました。

なお、まつチャレサポートデスクの業務は引き続き継続いたしますので、お問い合わせの際は、まずは以下の方法をご利用ください。

1 よくあるご質問 (FAQ) のページをご確認ください。

2 お問い合わせ・ご相談フォームにてご連絡ください。

3 上記で解決しない場合は、各担当課へ直接お電話をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

＜まつチャレの届出や創設支援補助金、指導者・研修に関することは...＞

スポーツ団体 : スポーツ事業推進課 0263-45-9511

文化・芸術団体 : 文化振興課 0263-34-3293

＜公民館施設の利用やフリースペースに関することは...＞

生涯学習課 0263-32-1132

＜学校部活動の相談や学校施設の利用、参加者支援補助金に関することは...＞

学校関係 : 学校支援室 0263-33-4397

施設関係 : 学校教育課施設担当 0263-33-9847

参加者支援補助 : 学校教育課 0263-33-9846

＜地域移行の計画、その他に関することは...＞

教育政策課 0263-33-3980



皆さまにはご不便をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



指導者人材バンクの登録状況について（令和7年3月24日時点）

現在、登録者は13人です。指導可能な種目は以下のとおりです。

＜スポーツ系＞

軟式野球・硬式野球、空手道・合気道、卓球、ラグビー、マウンテンバイク、バレーボール（ソフトバレーボール含む）、バスケットボール、サッカー（特にGK）

＜文化・芸術系＞

書道・書写・筆ペン・書道パフォーマンス、吹奏楽、洋裁

・指導者をお探しの団体は、学校支援室（0263-33-4397）までご連絡ください。

・また、指導者人材バンクへの登録も引き続き受け付けております。ご登録をご希望の方は、コチラからお申し込みください。



アーバンスポーツ体験会の開催について

部活動の地域移行は、新しい種目に挑戦できるメリットがあります。気軽に始められる都市型スポーツ「アーバンスポーツ」を体験しませんか？ [CLICK HERE](#)

日時：3月29日（土）11:00～15:00

場所：松本市中央体育館（Mウイング北棟）

対象：小学生以上（申込不要・無料）

持ち物：室内シューズ、動きやすい服装、水分

内容：ダブルタッチ by rerope redo、3X3 by SAKU REGION.EXE、Kendama by Zuku Kendamas

主催：松本市教育委員会／まつチャレ 共催：一般社団法人アーバンスポーツ信州

